

農産物の残留農薬検査結果（令和8年2月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和8年2月に各区福祉保健センターが収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

市内産農産物については、にんじん及びブロッコリー各4検体、キャベツ、大根の根及びほうれんそう各2検体、さつまいも、はくさい及びレタス各1検体の計17検体の検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。ブロッコリー及びほうれんそう各1検体から延べ3項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果（令和8年2月）

農産物	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
キャベツ	2	0			
さつまいも	1	0			
大根の根	2	0			
にんじん	4	0			
はくさい	1	0			
ブロッコリー	4	1	アゾキシストロビン	0.10	5
ほうれんそう	2	1	クロチアニジン	0.02	40
			ジノテフラン	0.06	15
レタス	1	0			

注) 中括弧 () は同一検体から検出されたもの

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
BHC (α、β、γ及びδの和)	0.005	○	—	○	—	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○
DDT (DDE、DDD、DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	クロルピリホス	0.01	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	—	クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○
アセフェート	0.01	○	○	○	○	クロルプロファム	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	クロロクソン	0.01	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	—	シアゾファミド	0.01	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	—	シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	シアノホス	0.01	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	ジコホール	0.01	○	○	○	○
エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	ジノテフラン	0.01	○	○	○	○
エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○	シハロトリン	0.01	○	○	○	○
エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○
エンドスルファン (α及びβの和)	0.005	○	○	○	○	シフルトリン	0.01	○	○	○	○
エンドリン	0.005	○	—	—	—	シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○
オキサミル	0.01	○	○	○	○	シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	シペルメトリン	0.01	○	○	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	ジメエート	0.01	○	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	ジメモルフ	0.01	○	○	○	○
クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○

表 2(続き) 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	○	○	○	フルジオキソニル	0.01	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	—	プロパホス	0.01	○	○	○	○
トリフロキシストロビン	0.01	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	—	○	—
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○
ピフェントリン	0.01	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	—
ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○
フィプロニル	0.002	○	○	○	○	ミクロブタニル	0.01	○	○	○	○
フェナリモル	0.01	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	—
フェントロチオン	0.01	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○
フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○
フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	メラクロール	0.01	○	○	○	○
フェントエート	0.01	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○
フェンバレレート	0.01	○	○	○	○	リンデン(γ-BHC)	0.005	○	○	○	—
フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○	○	○
フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○
フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○						

農産物の種類 A:にんじん、ブロッコリー、ほうれんそう B:キャベツ、はくさい、レタス C:さつまいも
D:大根の根

○:実施、—:実施せず

*DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 検査研究課 理化学(残留物汚染物担当) 】